

主要施策名:(5)水道・下水道等の整備

事務事業本数:2

基本目標(章)	主要施策(節)	施策区分	事務事業 コード	事務事業	所管課
④便利で快適な 都市づくり	(5)水道・下水道 等の整備	(1)水道の整備	451-1	家庭用井戸水検査事業	環境整備課
		(2)下水道等の整備	452-6	浄化槽設置整備事業	上下水道工務課

事務ふりかえりシート

《基本情報》

Table with 4 main rows: 1. Name of the business (家庭用井戸水検査事業), 2. Position in overall plan (Basic objectives, Main strategies, Strategy classification), 3. Implementation basis (Municipal covenants, Laws, etc.), 4. Business classification (Soft, Obligatory, Construction, etc.).

《事務事業の目的》

Table with 3 rows: 8. Implementation background (上水道未整備地区では、一般家庭で井戸水を飲料用や生活用水として使用しており、健康上の不安が存在する。), 9. Targets (上水道未整備地区の市民), 10. Intentions (上水道未整備地区の住民に水質検査に対する検査費用を一部支出し、検査を実施することにより、家庭用飲料水の安全性を確認する。)

《事務事業の概要》

Table with 4 rows: 11. Business period (Single year, Single year repeat, Limited period multiple years), 12. Business entity (National, Prefecture, City, Private, Other), 13. Implementation method (Direct, Full commission, Partial commission, Subsidy, Other), 14. Specific content (Water quality inspection of private wells in unimproved areas, with sub-table 15 listing tasks like inspection services).

《事務事業実施に係るコスト》

Cost breakdown table with columns: H29年度決算, H30年度決算, R01年度決算, R02年度予算, 全体計画. Rows include: Investment costs (National/Local expenditure, Debt, etc.), Personnel costs (Staff numbers, Salaries, etc.), and a Total row.

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H29実績	H30実績	R01実績	R02計画
① 家庭用井戸水検査業務	井戸水の水質検査に補助金を支出し、検査を行う	水質検査補助件数	件	54	56	54	90
②							
③							

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	H29年度決算	H30年度決算	R01年度決算		R02年度予算		
	対象(水質検査補助件数)	54	56	54		90	
投入コスト合計(千円)	1,316	1,319	1,235		1,409		
対象1単位あたりのコスト(千円)	24	24	23		16		
コスト評価(対前年比)	***	103.47%	(↑)	102.99%	(↑)	146.08%	(↑)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H29目標	H30目標	R01目標	R02目標
			H29実績	H30実績	R01実績	R02実績
1 飲用適格率	適格件数/申請件数×100	%	100	100	100	100
2			100	100	100	
* 成果未達成時の理由						

《事務事業の評価》

		評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/>	・市が実施するよう法令等で義務づけられている	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす	
効率性 【22】	<input type="checkbox"/>	・市が事業へ関与する必要が薄れている	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input checked="" type="checkbox"/>	・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている	
有効性 【23】	<input type="checkbox"/>	・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である	
公平性	<input type="checkbox"/>	・事業開始当初の目的から変化してきている	b
	<input checked="" type="checkbox"/>	・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	
公平性	<input checked="" type="checkbox"/>	・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input checked="" type="checkbox"/>	・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい	
公平性	<input type="checkbox"/>	・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input checked="" type="checkbox"/>	・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある	
公平性	<input type="checkbox"/>	・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない	b
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	
公平性	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標を設定している	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の目標値を達成した	
公平性	<input type="checkbox"/>	・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない	b
	<input checked="" type="checkbox"/>	・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる	
公平性	<input type="checkbox"/>	・法定事務であり成果は求めにくい	b
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している	
公平性	<input type="checkbox"/>	・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している	b
	<input checked="" type="checkbox"/>	・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	
公平性	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担がある ⇒ <input checked="" type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる	・負担率【 0.00 %】
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input type="checkbox"/> ・設定できない理由()	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	飲用井戸水の安全性確保のため、継続して検査を行った。			
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 縮小して継続	総合判定 A
	<input type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 終了	
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	上水道整備には費用、日数がかかり、未整備地区解消は困難であるため、今後も事業継続する。			
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名)			
	<input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)			

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	上水道未整備地区の家庭用飲用井戸水の水質検査料金の一部を補助し、市でまとめて検査機関に委託することで、水質の安全性を確認することが容易になる。地区内の健康被害を未然に防止することができることから事業継続が必要である。	評価責任者 塚本 昭広
----------------------	--	----------------

事務ふりかえりシート

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	浄化槽設置整備事業		所管課 【2】	上下水道工務課
			作成者(担当者)	磯野 真悟
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	④便利で快適な都市づくり		
	主要施策(節)	(5)水道・下水道等の整備		
	施策区分	(2)下水道等の整備		
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input checked="" type="checkbox"/> 新市建設計画【		年度予定	: 金額 0千円】
	<input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【		浄化槽法、市浄化槽設置整備事業補助金交付要綱 】	
事業区分 【6】	<input type="checkbox"/> その他の計画【 】 <input type="checkbox"/> 該当なし			
	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事业 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定事務			
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【		】	款 4 項 1 目 9 細目 1

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	公共下水道・農業集落排水処理区域外の用排水路及び河川等の水質保全・生活環境の向上、公衆衛生環境の向上を図る必要がある。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	公共下水道・農業集落排水処理区域外(玉名・岱明・横島)で浄化槽を設置する市民
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	浄化槽を設置することで、生活排水による用排水路及び河川の水質汚濁防止を図る。

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度
	【 年度】 【 H17 年度から】 【 年度～ 年度まで】
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 】
実施方法 【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託・請負 <input type="checkbox"/> 一部委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【 】
事務事業の具体的内容 【14】	<input type="checkbox"/> 浄化槽を設置しようとする申請者に対して、補助金の交付事務(申請書の受付から設置後の現場確認及び補助金交付まで)、国・県への補助金の交付申請・受入事務、それに伴う実績報告事務 <input type="checkbox"/> 浄化槽未設置の世帯に対して、広報誌等により普及促進を図る事務 <input type="checkbox"/> 権限委譲により、設置者への検査・保守点検実施指導業務 <input type="checkbox"/> 既存住宅の汲み取りや単独浄化槽から合併浄化槽への切替を行ったときに追加補助をする事業
	【15】 事務事業を構成する細事業(4)本 ⇒ ① 浄化槽設置整備事業 ② 浄化槽推進業務 ③ 浄化槽整備事業特別会計繰出金業務

《事務事業実施に係るコスト》

		H29年度決算	H30年度決算	R01年度決算	R02年度予算	全体計画	
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	33,601	16,131	0	15,280	0
		県支出金	9,865	9,842	14,166	18,280	0
		起債	0	0	0	0	0
		受益者負担	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	19,928	21,947	47,789	36,060	0
		【16】 小 計	63,394	47,920	61,955	69,620	0
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)		0	0	0		
	職人件費	職員人工数	1.60	1.60	1.50	1.50	
		職員の年間平均給与額(千円)	5,925	5,896	5,476	5,476	
		会計年度任用職員の人件費(千円)				0	
		【17】 小 計	9,480	9,434	8,214	8,214	
合 計		72,874	57,354	70,169	77,834		

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H29実績	H30実績	R01実績	R02計画
① 浄化槽設置整備事業	浄化槽設置者に対し、補助金を交付する	設置基数	基	70	67	92	100
② 浄化槽推進業務	広報誌等により浄化槽の普及促進を図る	掲載回数	回	3	3	3	3
③ 浄化槽整備事業特別会計繰出金業務	浄化槽特別会計への繰り出し	繰り出し回数	回	1	1	1	1

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	H29年度決算		H30年度決算		R01年度決算		R02年度予算	
	対象(設置基数)	70	67	92	100			
投入コスト合計(千円)	72,874	57,354	70,169	77,834				
対象1単位あたりのコスト(千円)	1,041	856	763	778				
コスト評価(対前年比)	***	121.61%	(↑)	112.24%	(↑)	97.99%	(↓)	

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H29目標	H30目標	R01目標	R02目標
			H29実績	H30実績	R01実績	
1 年間処理水量	(5人槽 0.2㎡×5人×設置基数+7人槽 0.2㎡×7人×設置基数+10人槽 0.2㎡×10人×設置基数)×365日=年間処理水量	㎡	65627	65627	65627	65627
2			29565	27813	36938	

* 成果未達成時の理由 浄化槽設置計画基数が計画値を下回ったため、年間処理水量も実績が計画を下回る結果となった。

《事務事業の評価》

		評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/>	・市が実施するよう法令等で義務づけられている	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす	
効率性 【22】	<input type="checkbox"/>	・市が事業へ関与する必要が薄れている	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input checked="" type="checkbox"/>	・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている	
有効性 【23】	<input type="checkbox"/>	・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である	
公平性	<input type="checkbox"/>	・事業開始当初の目的から変化してきている	c
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業開始当初の目的から変化してきている	
公平性	<input type="checkbox"/>	・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	c
	<input checked="" type="checkbox"/>	・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	
公平性	<input checked="" type="checkbox"/>	・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい	
公平性	<input type="checkbox"/>	・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である	c
	<input checked="" type="checkbox"/>	・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある	
公平性	<input type="checkbox"/>	・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない	c
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	
公平性	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標を設定している	c
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の目標値を達成した	
公平性	<input type="checkbox"/>	・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない	c
	<input checked="" type="checkbox"/>	・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる	
公平性	<input type="checkbox"/>	・法定事務であり成果は求めにくい	c
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している	
公平性	<input type="checkbox"/>	・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している	c
	<input checked="" type="checkbox"/>	・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	
公平性	<input type="checkbox"/>	・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる	【24】
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由(補助金交付事業であるため)	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	近年の申請数は減少傾向であるが、昨年度は消費税増税の影響により申請数が一昨年度比で4割弱増加した。		
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 縮小して継続
	<input type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 終了
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	総合判定 C 集合処理未整備地区の水洗化は浄化槽設置しかないため、今後も継続する必要がある。また、生活雑排水をそのまま放流し、環境負荷の高い汲取り、単独槽の転換も附帯工事補助にて進めて行く必要がある。 浄化槽設置後も環境保全(水質汚濁防止)のためには適正な維持管理が必要であり、浄化槽の保守点検、清掃、法定検査を継続して行わなければならない。		
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名)		
	<input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)		

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	今後も、積極的に市の施策として取り組み、環境に配慮した事業でもあり、合併浄化槽設置の推進を継続していく必要がある。	評価責任者 二瀬 哲也
----------------------	---	----------------